

第3期 京都文化芸術都市創生計画（案） の概要

令和8年8月 文化芸術企画課

本日の会議の主旨

「第3期 京都文化芸術都市創生計画」（令和9年3月策定予定）に関し、第1回（令和8年3月9日）・第2回（同7月1日）政策部会での議論を経て、現時点の計画案の概要について御審議いただく。

（参考）

京都文化芸術都市創生計画

本市の文化芸術分野の分野別計画であり、「京都文化芸術都市創生条例」において策定が定められている条例計画
令和9年3月に現行の「第2期 創生計画」が計画期間（10年）を満了するため、今年度、次期計画を策定

これまでの経過

令和8年1月21日	第26回創生審議会にて諮問、政策部会設置
3月 9日	第1回政策部会開催
7月 1日	第2回政策部会開催

策定に伴う調査

計画策定に並行し、各分野への有識者10名程へのヒアリング調査と市内公立中学・高校の美術・音楽担当教員へのアンケート調査を実施中

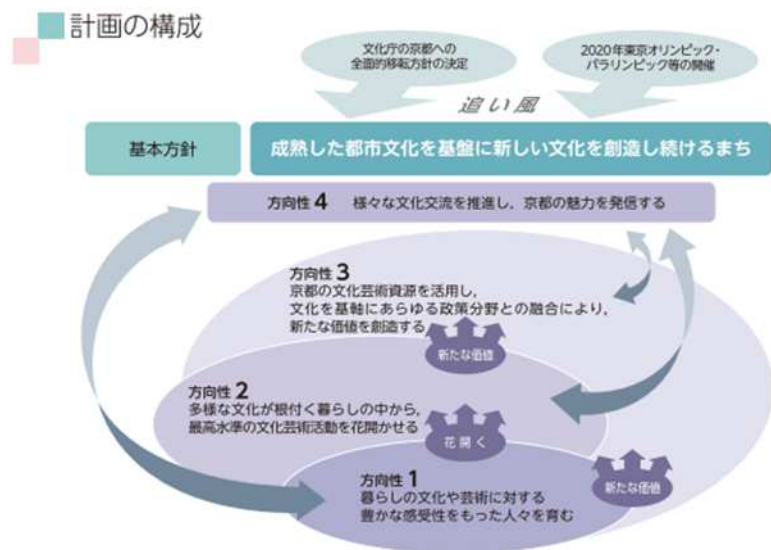
第2期 創生計画の取組と成果

第2期計画では、京都の豊かな文化芸術を備えた土壌に次代の芽が育つよう種をまき、市民が文化芸術に親しむと同時に優れた芸術家が育つ環境を整え、文化芸術活動の花を開かせることを目指し、広範な政策分野との融合を図り、新たな価値を創造することで京都の都市格の向上と国内外への発信により文化交流を深めました。

達成状況

以下の方向性の体系の下、132の施策に取り組み、131を達成しました。
(未達成項目：京都における新たな世界遺産の登録)

(参考) 第2期計画の基本方針と方向性



主な取組・成果

- ・「京都文化力プロジェクト2016-2020」の実施
- ・京都芸術センター制作支援事業 ヨーロッパ企画『来てけつかるべき新世界』（作・演出：上田誠）が岸田國士戯曲賞を受賞（H29）
- ・神里雄大『バルパライソの長い坂をくだる話』（KYOTO EXPERIMENT2017で京都芸術センターにて初演）が岸田國士戯曲賞を受賞（H30）
- ・京都市美術館の再整備（R2）
- ・文化庁の京都移転（R5）
- ・京都市立芸術大学の移転（R5）
- ・京都市京セラ美術館「村上隆 もののけ 京都」開催（R5～6）
※ 来場者数：459,559人
- ・「アンゼラム・キーファー：ソラリス」展開催（R6～7）
- ・「子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出」の規模拡大
※ 実施個所数 H29—40か所 R7—110か所
- ・京都芸術文化特別奨励者の複数が、京都市芸術新人賞を含む芸術賞を受賞

策定にあたっての考え方

(1) 基本的な考え方

- ・ 理念に偏重せず、より実務的な計画とする。
- ・ 「本市が主体となって実施する施策」の記述に集中し、他主体の取組まで網羅しようとししない。
- ・ ハイライトとなる施策（重点施策）を、端的に示す。（重点施策のもと、計画期間中、柔軟に事業を企画・実施）
- ・ 計画の策定・管理に過剰なコストを費やさない。
- ・ 「第2期 創生計画」で、計画期間中盤に99%を達成し羅針盤を欠く事態となったことを考慮し、一方で計画の柔軟性を念頭に置き、計画期間はバランスよく設定する。

(2) 全体のボリュームなど

- ・ 「重点施策」は10～15項目程度にまとめ、全体で30ページ程度（現行計画の半分程度）とする。
- ・ 原則としてPDFで公開し、印刷は小数部とする。
- ・ 本冊が簡略化されるため、概要版は作成しない。

計画期間

令和 9（2027）年度～16（2034）年度の 8 年間

（考え方）

現行の「第2期 創生計画」の計画期間は10年間であったが、終盤には計画と実態が乖離した。

これを踏まえ、事業レベルから施策レベルの計画に再構成するとともに、期間を「8年間」に改める。

なお、計画の進捗は毎年度行う審議会にて点検の上、必要に応じて施策に紐づく事業を企画立案する。

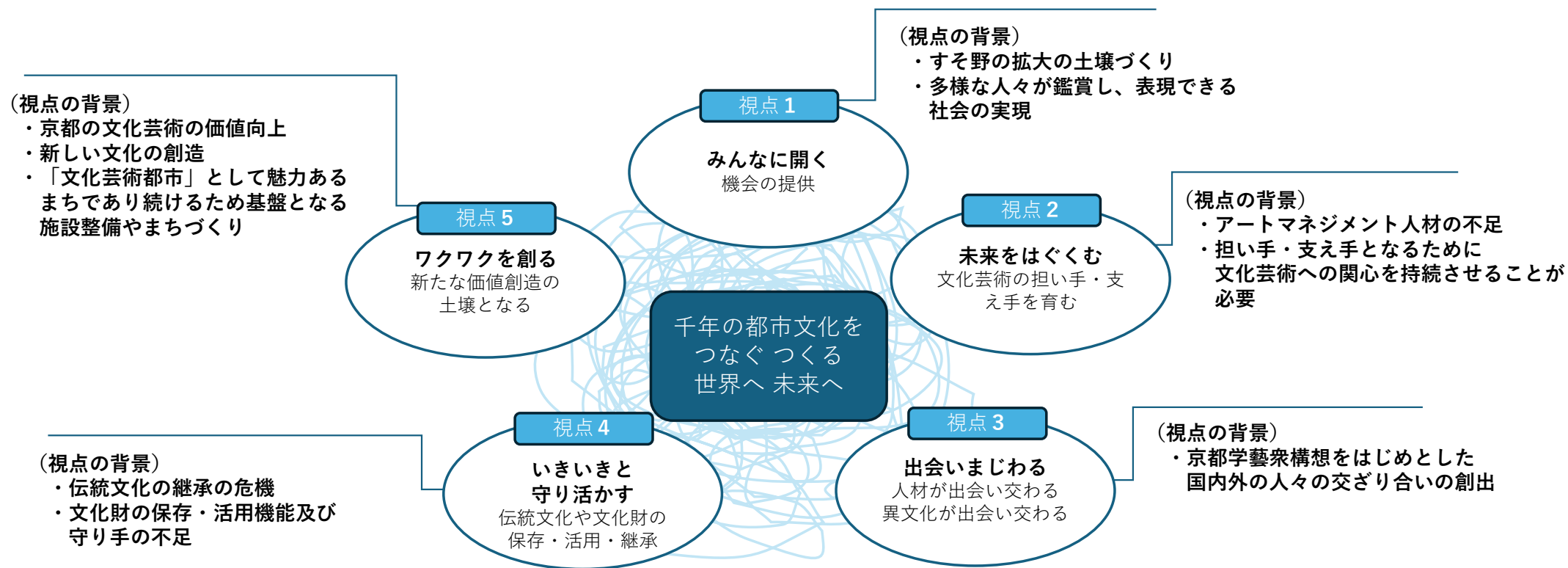
（参考）

文化計画の計画期間（他19政令市の状況）

3年：1都市、5年：7都市、8年：2都市、10年：6都市、期限なし：3都市

基本方針と五つの視点

基本方針（案）： 千年の都市文化を つなぐ つくる 世界へ 未来へ



各視点は、文化芸術の振興にとって重要と思われる要素。それらが互いに、予期せぬことも含め、関連し合う。

重点施策と主な取組

・新しい文化の創造

- …創造を支える基盤事業の再活性化
- …映画・映像文化の振興と創造環境の整備
- …“創造する美術館”の創出
- …政策連携団体とのパートナーシップによる価値共創

・文化と経済の好循環の創出

- …アート市場の活性化や、アートとビジネスの融合
- …宿泊税や寄付金など多様な財源の効果的活用

・文化芸術を活かしたまちづくり

- …市内各所におけるエリアプロジェクトとの連動
- …京都コンサートホールの魅力向上と京都市交響楽団の発展・進化

・公共の文化拠点の価値向上

- …各文化施設の適切な整備・活用

・文化芸術に触れる機会の創出

- …子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出・拡充
- …幅広い世代に向けた多様な学び合いや体験の機会の創出

・開かれた文化環境の醸成

- …すべての人に文化芸術を開き、届けるための仕組みづくり
- …誰もが表現に参加できる機会の創出

・文化の担い手の育成

- …京都市立芸術大学等での社会に創造的活力をもたらす人材育成
- …京都で育ったクリエイティブ人材が、京都で安定的に働ける環境づくり
- …アートマネジメント人材の育成・集積

・文化芸術への関心を持続させる仕組みづくり

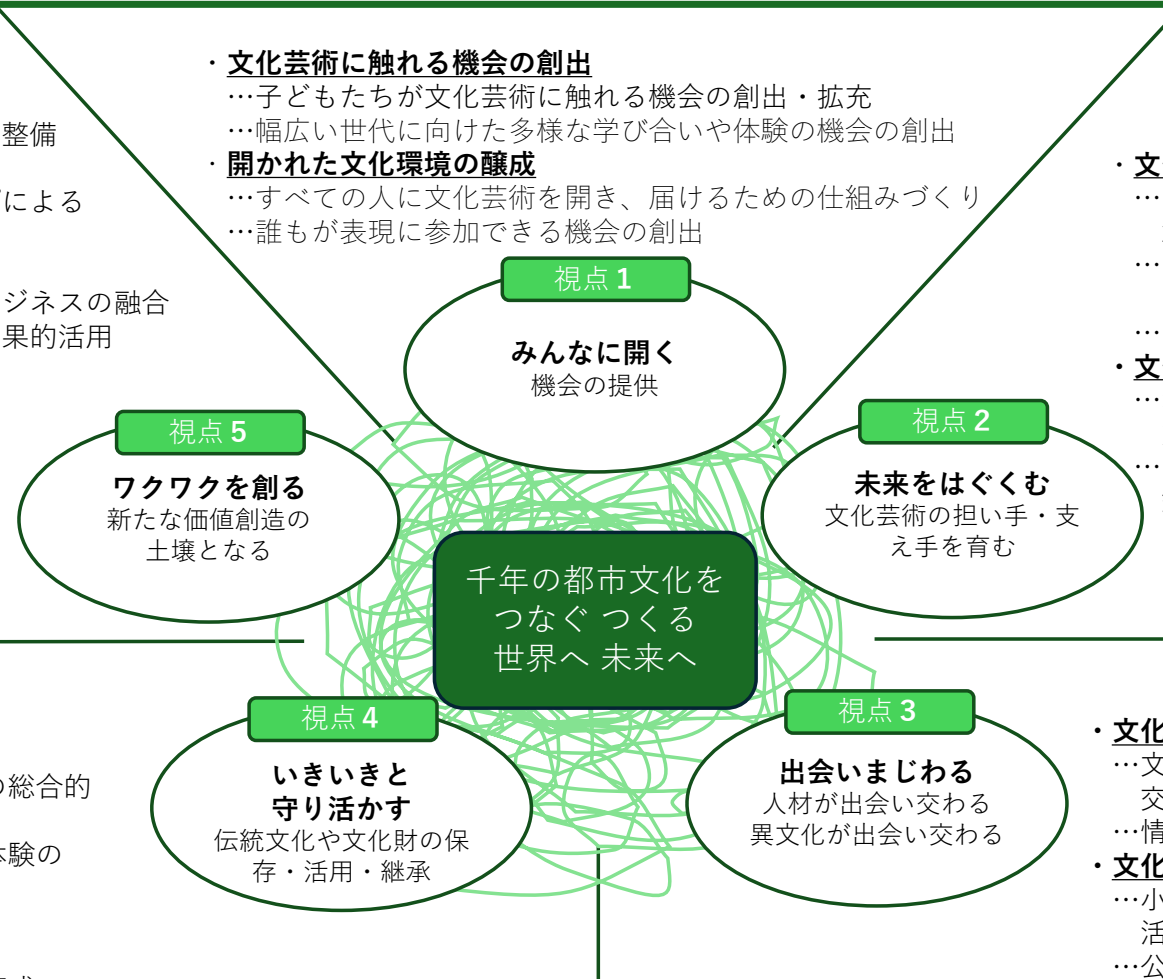
- …地域との連携による学校での文化活動の充実
- …トップレベルの文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実

・伝統文化の継承

- …伝統芸能継承のための調査・研究
- …伝統産業や花街文化、食文化等への総合的かつ多角的な支援
- …伝統文化の体験・鑑賞、伝統産業体験の機会の創出

・京都文化遺産の保存と活用

- …文化財保護の基盤づくり
- …文化遺産の維持継承へ向けた機運醸成
- …文化財の担い手・支え手のすそ野拡大



・文化芸術を通じた招聘・交流の促進

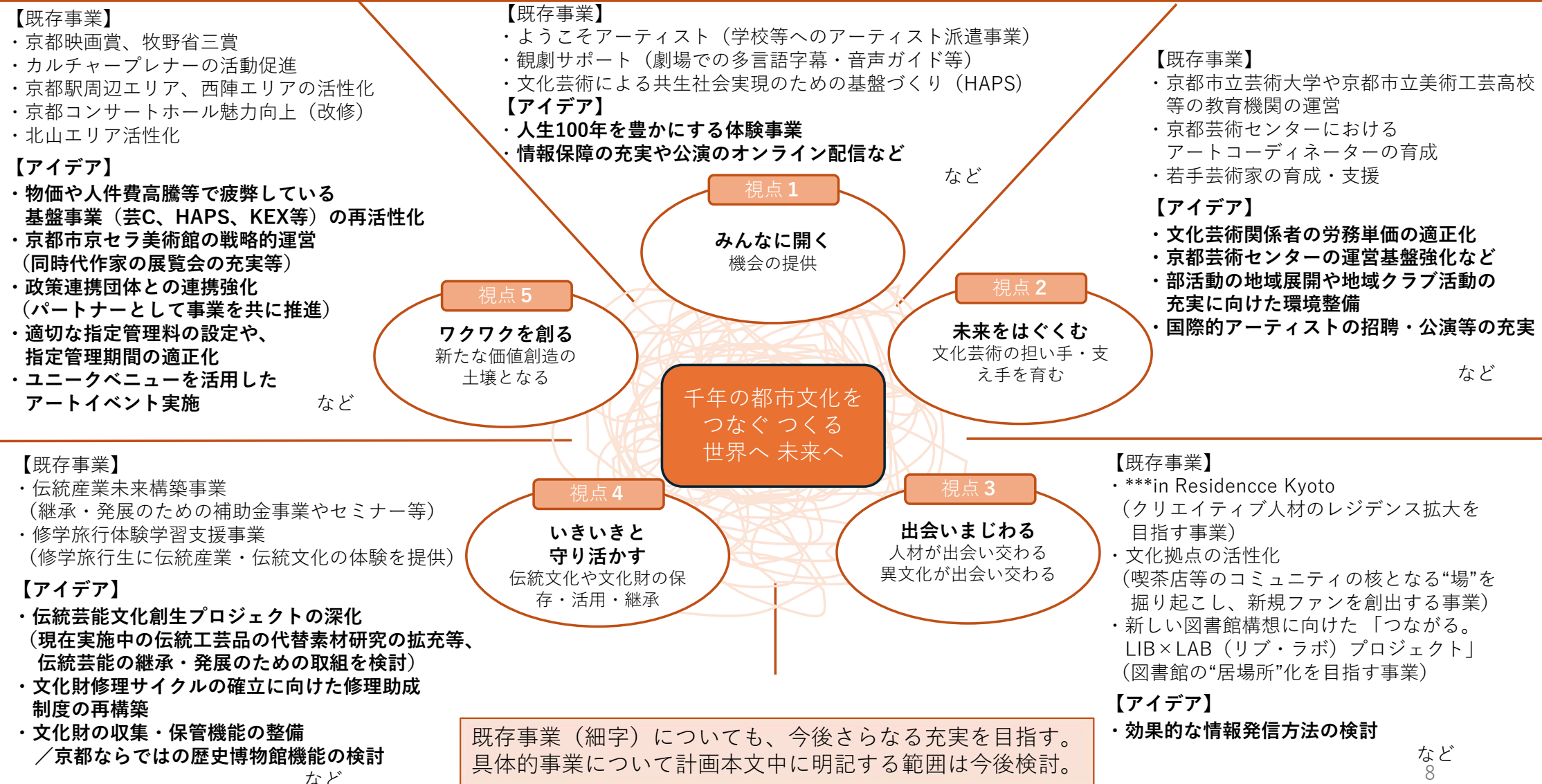
- …文化芸術を通じて、人々が出会い、交ざり合い、創造する機会の創出
- …情報発信の充実

・文化交流拠点への支援・活性化

- …小劇場や寺社など民間の交流の“場”の活性化支援
- …公共施設の、交流の“場”としての活用

計画期間中において、特に重点的に取り組む施策について記載。
重点施策以外の施策についても、既存施策を継続するほか、社会情勢に応じて新規の施策を実施することがある。

具体的な事業



京都基本構想と新京都戦略から（主な関連）

京都基本構想で描くまちの将来像

歴史と文化を介して人間性を恢復できるまち

（歴史と文化から、人としての豊かさを見つめ直していく）

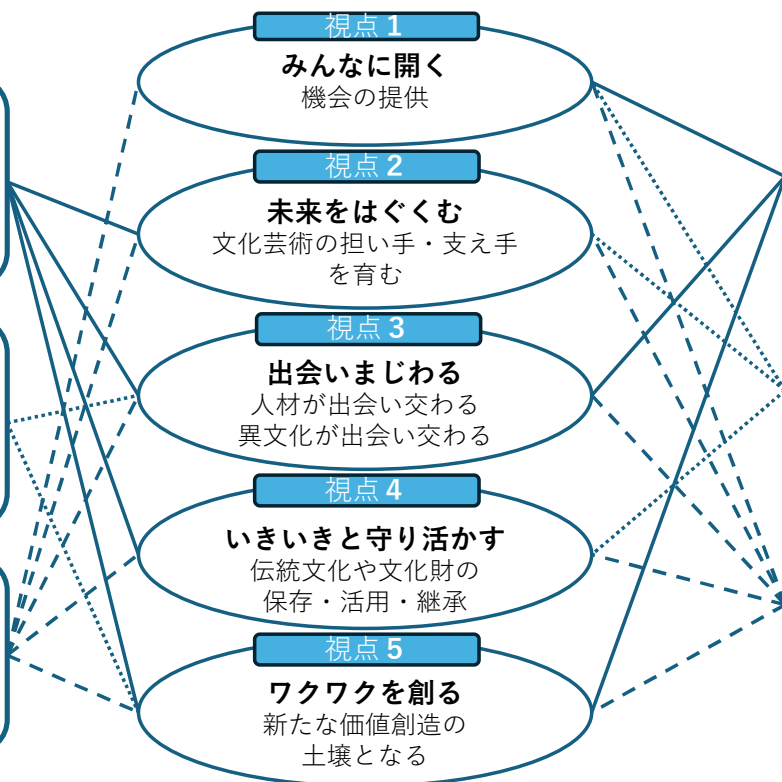
①本物（ほんまもん）を追究・創造し続ける
短期的な利益のみを求めるのではなく、市内外の人々と積極的に連携・協力しながら、ほんまもんを創造し続けることで、まちの活力や基盤としていく。

②世界の文化と交流し、新たな文化を創造し続ける
世界の人々と交流を重ねながら、新しい文化を創造し、またその文化を受け容れることで、世界へと活躍の場を広げるとともに、人々に選ばれるまちにしていける。

③「夢中」と「感動」に溢れ、学び続けられる
未来を担う子どもや若者をはじめ、このまちの至るところに息づく歴史や文化に触れられる環境を整えていくことで、誰もが学び続けられるまちにしていける。

第3期 京都文化芸術都市創生計画

千年の都市文化をつなぐ つくる 世界へ 未来へ



新京都戦略 リーディングプロジェクト

ひらく

①世界中からクリエイティブ人材
がつどい・交じる「テラス」のまち
プロジェクト

きわめる

⑧「千年の都から次の千年へ」文
化継承・価値創造プロジェクト

きわめる

⑨ まち中に「学藝」があふれるプ
ロジェクト

京都市民だけではなく、京都を愛する0.1市民を含めた人々に、文化芸術を通じて大きな生きる喜びをもたらし、京都のまち全体を活気に満ちたものとする。

そのために、京都学藝衆構想による人々の交ざり合いや、「夢中」になれる学び合い、居場所と出番の創出という京都基本構想や、新京都戦略の方針に沿いながら、次期計画における視点や重点施策にて具体的な取組を提示する。

参考資料

政策部会 委員名簿			
氏名	職業	専門	備考
岩崎 奈緒子	京都大学総合博物館 教授	史学（日本史）※文化財	審議会委員 国「文化審議会」委員
太下 義之	文化政策研究者、東京藝術大学 客員教授	文化政策	審議会委員
池坊 専宗	華道家元池坊 青年部代表	華道、写真	京都市未来共創チーム会議委員
木ノ下 裕一	木ノ下歌舞伎 主宰	演劇、伝統芸能	
宮崎 優也	龍谷大学 非常勤講師、指揮者	洋楽	
山本 麻友美	公益財団法人京都市芸術文化協会 ディレクター	美術	

政策部会でのこれまでの議論

- 第1回（令和8年3月9日）：顔合わせ・主旨合わせ
- 計画の体系案や重点施策案をお示し
- 第2回（令和8年7月1日）：基本方針・視点・重点施策に関する議論

今後のスケジュール（予定）

- 8月18日（火）第27回審議会
- 9月1日（火） 第3回政策部会（中間案の作成）
- 10月頃 文教はぐくみ委員会報告（パブコメ実施）
- 11月頃 パブリック・コメント
- 12月頃 第4回政策部会（最終案検討）
- 2月頃 第28回審議会・答申